

オオハンゴンソウ報告書

はじめに

調査とは別に駆除活動もできる範囲で行っているが、やはり調査中にもどかしい感じを持ってしまう。特に繁茂期が夏ということもあり、観光地としては最盛期にあたる。駆除するにも人手も少なく、少しずつは範囲を広げているが限界もある。本来夏前にそれぞれの家屋周辺を草刈りしているのだが、高齢化も進み、回数・範囲などが減少しているのが現状である。

調査日

令和1年7月11日・8月10.13.15.18.20.26日・9月6.9日

調査方法

現場では巻き尺で計測。GPSを使用し面積を割り出し、地図へ落した。猪苗代方面に向かって左右を統一して記述した。

レベル基準

- 1 10本以下
- 2 10～30本
- 3 30～100本
- 4 100本以上

調査範囲

- ・ 県道（猪苗代～米沢） 剣ヶ峯交差点～早稲沢元スカイバレー入口跡
- ・ 村道 早稲沢～檜原
- ・ 国道459号線 磐梯朝日国立公園看板～元ゴールドライン入口跡
- ・ 村道 剣ヶ峯分岐～曾原～孤鷹森
- ・ 村道 五色沼入口～蛇平～小野川～グランデコリゾート
- ・ 村道 秋元湖入口～千貫橋
- ・ 村道 蛇平～クルミの森内
- ・ 県道 剣ヶ峯～レークライン入口跡～望湖台

考察

年ごとの天候により繁茂状況が変わったり、工事などの人為的なもので消滅したかに見えたりと今年度は変化にとんだ結果となっている。

夏休み中がオオハンゴンソウの最盛期にあたるが、駆除活動としては経験も積んできて

いるので、容易に若芽を判断できることを踏まえて、7月にできるだけ除草剤塗布と草刈りでの駆除をする。また他団体、個人がそれぞれで活動を行っているので、連携して進めていけるようにしたい。

1 地区ごとへの啓蒙活動

2 地区を限定して駆除作業を実施

*小野川地域・くるみの森別荘地内は全体に広がっており、地区の方々への説明・協力を仰いで具体的に駆除作業についての方法を検討する。

*毎年同じことを思い、実行できずにいるのがもどかしい。オオハンゴンソウは草丈も高いので、動物による作物被害や人的被害などと連携しての草刈りを考えていこうと思う。

調査者

真野真理子 立花千秋 渡部のり子 高橋千帆

駆除従事者

立花千秋 赤木進二 長岡幸二 鈴木正代 新井徹 伊藤延廣 立花千春